



Hewlett Packard
Enterprise

Windows OS 用 HPE ProLiant サーバー ア ダプター オンラインファームウェア アップ グレード ユーティリティヘルプ

摘要

このガイドは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象とし、コンピューター機器の保守の資格があり、高電圧製品の危険性について理解していることを前提としています。

部品番号:
発行: 2017 年 7 月
版数: 1

目次

概要	4
ファームウェア更新が必要なとき.....	4
ファイルのダウンロード.....	4
SPP のダウンロード.....	5
サポートされているオペレーティングシステム.....	5
サポートされているアダプター.....	5
ファームウェアアップグレードユーティリティ	7
アップグレードの前提条件.....	7
Windows OS 用アダプターファームウェアアップグレードユーティリティ.....	7
アダプターのユーティリティログ.....	8
ファームウェアアダプターの操作.....	8
コマンドライン引数.....	8
複数のアダプターのファームウェアのアップグレード.....	9
ユーティリティのサイレントモードでの実行.....	9
ユーティリティの強制モードでの実行.....	9
ユーティリティの SPP での実行.....	9
ファームウェアのダウングレード.....	9
トラブルシューティング	11
ファームウェアアップグレードログファイル.....	11
Web サイト	12
サポートと他のリソース	13
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	13
アップデートへのアクセス.....	13
カスタマーセルフリペア (CSR)	14
リモートサポート (HPE 通報サービス)	14
保証情報.....	14
規定に関する情報.....	14
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	15
頭字語と略語	16

© 2017,

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューター・ソフトウェア、コンピューター・ソフトウェア資料、および商業用製品の技術情報は、ベンダー標準の商業用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft®、Windows®、および Windows Server® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Intel® およびインテルはインテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

概要

ファームウェア更新が必要なとき

Windows OS 用 Hewlett Packard Enterprise ProLiant サーバー アダプター オンラインファームウェア アップグレード ユーティリティは、ドライバー、ハードウェア、およびオペレーティングシステムの依存関係を自動的にチェックして、各ターゲットサーバーに必要なとされる適切なアダプターファームウェアアップグレードだけをインストールします。

ユーティリティは実行可能ファイルであり、以下の種類のアダプターをサポートしています。

- Broadcom NX1 ベースのアダプター
- Broadcom NetXtreme-E ベースのアダプター
- QLogic NetXtreme (NX2) アダプター
- QLogic FastLinQ アダプター
- Intel ベースの (Gen8 以降) アダプター

次のようなときに、ファームウェアのバージョンをアップグレードまたは交換します。

アップグレード	交換
初めてアダプターを使用する前	現在のファームウェアバージョンで問題が発生したとき
Hewlett Packard Enterprise から新しいサーバーアダプターファームウェアバージョンがリリースされたとき	新機能がサポートされるようにアップグレードするとき

Broadcom NX-1、Broadcom NetXtreme-E、QLogic P3、QLogic P3P、および QLogic NX2 ベースのアダプターの場合、ユーティリティは単一のファームウェアイメージを調べてアップグレードします。

Intel ベースのアダプターの場合、ユーティリティは以下のコードおよびファイルをチェックしてアップグレードします。

- eprom
- Flash

ユーティリティはアダプターの製品ページからファイルとして、または SPP でダウンロードします。詳しくは、「[ファイルのダウンロード](#)」および「[SPP のダウンロード](#)」を参照してください。SPP には HP SUM が含まれており、付属しているすべてのコンポーネントとの GUI インターフェイスを提供します。SPP を実行して、すべてのサーバーコンポーネントを同時に更新します。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティを使用してファームウェアをダウングレードするには、「[ファームウェアのダウングレード](#)」を参照してください。

ファイルのダウンロード

手順

1. [Hewlett Packard Enterprise の Web サイト](#)に移動します。
2. **製品名または製品番号**を入力してくださいフィールドにアダプター名を入力して**実行**をクリックします。
たとえば、**HPE Ethernet 1 Gb 2-port 332T Adapter** と入力します。
3. 製品ページを開くには、アダプターを選択します。
4. 製品ページから、次のいずれかの操作を行います。
 - ドライバー、ソフトウェア、およびファームウェアをクリックします。

- 製品のドライバーの言語とオペレーティングシステムを選択し、必要に応じてドライバーとファームウェアをダウンロードします。
- ドキュメントをダウンロードするには、**マニュアルタブ**をクリックします。

SPP のダウンロード

システムソフトウェアおよびファームウェアを更新するには、**Hewlett Packard Enterprise の Web サイト**から SPP をダウンロードしてください。

サポートされているオペレーティングシステム

アップグレードユーティリティは、以下の Windows OS をサポートします。

- Microsoft Windows Small Business Server 2011 Essentials (Aurora)
- Microsoft Windows Small Business Server 2011 (SBS V7)
- Microsoft Windows 2012 Server Essentials
- Microsoft Windows 2012 Server Essentials R2
- Microsoft Windows Server 2012 Foundation
- Microsoft Windows Server 2012 Foundation R2
- Microsoft Windows 2012 Server Standard
- Microsoft Windows 2012 Server Standard R2
- Microsoft Windows 2012 Server Datacenter
- Microsoft Hyper-V Server 2012
- Microsoft Hyper-V Server R2 SP1
- Microsoft Windows Server 2012 (x64) R2
- Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter
- Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
- Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials
- Microsoft Windows Server 2012 R2 Foundation
- Microsoft Windows MultiPoint Server 2012
- Microsoft Hyper-V Server 2012 (x64) R2
- Microsoft Hyper-V Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016

サポートされているアダプター

Hewlett Packard Enterprise ProLiant Server アダプターオンラインファームウェアアップグレードユーティリティは、以下のアダプターのファームウェアをアップグレードします。

Broadcom NX1 ベースのアダプター :

- HPE Ethernet 1Gb 2 ポート 332T アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4 ポート 331T アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4 ポート 331FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2 ポート 332i アダプター

Broadcom NetXtreme-E ベースのアダプター :

- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 535FLR-T アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 535T アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2 ポート 631FLR-SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2 ポート 631SFP28 アダプター

Intel ベースのアダプター :

- HP Ethernet 1Gb 2 ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 561T アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 561FLR-T アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 562FLR-T アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 562T アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 568i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 560SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2 ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 560M アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10 Gb 2 ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4 ポート 366M アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4 ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4 ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4 ポート 366i 通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4 ポート 366T アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2 ポート 361T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2 ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2 ポート 563i アダプター

QLogic NetXtreme ベースの (NX2) アダプター :

- HPE StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 522FLR-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 521T アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2 ポート 533FLR-T アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4 ポート 536FLR-T アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 536FLB アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4 ポート 536FLR-T アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2 ポート 621SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2 ポート 622FLR-SFP28 コンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 630FLB アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2 ポート 630M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2 ポート 530SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2 ポート 530T アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 534M アダプター
- HPE Synergy 10Gb 2820C コンバージドネットワークアダプター
- HPE 3820C 10/20Gb コンバージドネットワークアダプター

QLogic FastLinQ アダプター :

- HPE Ethernet 25Gb 4 ポート 620 SFP28 アダプター
- HPE Synergy 6810C 25/50Gb Ethernet アダプター

ファームウェアアップグレードユーティリティ

アップグレードの前提条件

ターゲットサーバー上の各サーバーアダプターについて、アダプター用のドライバーがインストール済みであり、アップグレード対象となるサーバーアダプターで有効になっている必要があります。ドライバーがサーバーアダプターと通信できない場合は、サーバーアダプターを更新できません。

Windows OS 用アダプターファームウェアアップグレードユーティリティ

ファームウェアアップグレードユーティリティは単一の自己解凍型の実行可能ファイルであり、ユーティリティを展開して実行し、サーバーアダプターファームウェアおよびコンポーネントをアップグレードします。

手順

1. 次のいずれかのコマンドを使用して、アダプタードライバーがアクティブであることを確認します。

Powershell から : `get-netadapter`

コマンドラインから : `ipconfig /all | find "Description"`

アクティブである場合は、サポートされているアダプターが表示されます。

2. アダプターオンラインファームウェアアップグレードユーティリティを起動します。

HPE パッケージセットアップウィンドウにコンポーネントのバージョンとアップグレードの説明が表示されます。

3. **インストール** をクリックしてユーティリティを実行します。

進行状況バーに、既存のファームウェアの確認の進行状況が表示された後、HP セットアップウィンドウが表示されます。

4. HP セットアップウィンドウで、確認結果を確認します。

一般的なメッセージとしては、以下のような結果があります。

- The firmware is up to date.
- At least one NIC (adapter) on the system has older firmware than the utility.
- The firmware currently installed is newer than the utility firmware.

5. 次のいずれかを実行します。

- **インストール** をクリックして、ユーティリティからファームウェアアップグレードをインストールします。
- **閉じる** をクリックして、インストールせずに HP セットアップウィンドウを閉じます。

DOS ウィンドウには、ユーティリティによって検出されたアダプターが表示されます。このウィンドウには、特定のファームウェアアップグレードが表示されます。

6. 操作を入力して、検出されたアダプターおよび関連するアップグレードごとに **Enter** キーを押します。

最後に検出されたアダプターに対して応答が入力されたら、ユーティリティはインストールを開始します。インストール中、DOS ウィンドウにはアップグレードの説明が表示されます。

7. HP セットアップウィンドウで結果と、手順が表示されている場合はそれを確認し、**閉じる** をクリックしてユーティリティを終了します。

8. HP セットアップウィンドウから、システムのリブートなどの手順をすべて実行し、インストールを完了します。

アダプターのユーティリティログ

インストールについて詳しくは、%systemroot%\cpqsystem\log にアクセスして特定のアダプターのユーティリティログを参照してください。

アダプタータイプ	ログファイル名
Broadcom ベース	bcmnicfwupg.log
Broadcom NetXtreme-E	bmcefwupg.log
Intel ベース	hpnvmupdate.log
QLogic ベース NX2	qlnicfwupg.log
QLogic FastLinQ	qlbbfwupg.log

ファームウェアアダプターの操作

アップグレードユーティリティは、アダプターの更新のたびに特定の応答を要求します。ユーティリティのファームウェアバージョンの方が新しい場合、すべての要求に対するデフォルト操作は `y` であり、ファームウェアバージョンが元のバージョンと同じまたはそれ以下の場合は `n` になります。

アクション	定義
<code>y</code>	はい、この個別の更新を実行します。
<code>n</code>	いいえ、この更新をスキップします。
<code>q</code>	中止して、ツールを終了します。更新を実行しません（それまでに選択した更新も実行しない）。
<code>c</code>	続行し、この更新は実行しません。このアダプターについては将来発生しうるすべての更新をスキップします。

コマンドライン引数

アップグレードユーティリティは、以下のコマンドライン引数を認識します。

コマンドライン引数	定義
<code>-y</code>	はい。すべての更新を実行します（すべての更新プロンプトに <code>yes</code> が指定されます）。
<code>-n</code>	いいえ。更新を実行しません。
<code>-s</code>	サイレント。このコマンドは、ユーザーとの対話なしでサイレントにユーティリティを実行します。すべてのプロンプトに対して、デフォルト操作が暗黙に指定されます。メッセージはログに記録されますが、画面には表示されません。
<code>-f</code>	強制。このコマンドは、システムにインストールされているファームウェアの方が新しい場合でも、ファームウェアを強制的に更新します。
<code>-h</code>	ヘルプ。このコマンドは、ユーザーのメッセージを表示します。このオプションを他のオプションとともに使用する場合、他のオプションは無視されます。

複数のアダプターのファームウェアのアップグレード

ユーティリティは、非対話形式でサイレントおよび強制モードでの実行が可能であり、ファームウェア更新を一度に1つずつ、サーバーに取り付けられているアダプターにインストールすることができます。SPP を実行して、アダプターファームウェアなどすべてのサーバーコンポーネントを同時に更新します。アダプターファームウェアのインストールに関するユーティリティログについては、「[ファームウェアアップグレードログファイル](#)」を参照してください。

ユーティリティのサイレントモードでの実行

サイレントモードではすべてのファームウェアをアップグレードできますが、同じまたはそれ以上のバージョンが存在する場合にはファームウェアを上書きしません。

手順

1. 「[ファイルのダウンロード](#)」の説明に従います。
2. 次のコンポーネントを実行します。cp0xxxxxxx.exe -s

ユーティリティはサイレントモードでインストールを開始します。アップグレードが完了するまで、システムの処理を妨害しないでください。

3. 結果のログの詳細を確認します。
4. ファームウェアアップグレードの完了後、必要に応じてシステムをリブートします。

ユーティリティの強制モードでの実行

強制モードをサイレントモードと組み合わせて使用することにより、現在のバージョンに関係なくファームウェアアップグレードおよびダウングレードが可能になります。サイレントモードを使わない強制モードを選択すると、各コンポーネントのダウングレードを明示的に指定することになります。

手順

1. 「[ファイルのダウンロード](#)」の説明に従います。
2. 次のコンポーネントを実行します。cp0xxxxxxx.exe -s -f

このコンポーネントでサポートされているアダプターで、インストールが強制モードで開始されます。更新が完了するまで、システムの処理を妨害しないでください。

3. 結果のログの詳細を確認します。
4. ファームウェア更新の完了後、必要に応じてシステムをリブートします。

ユーティリティの SPP での実行

SPP に含まれている HP SUM を使用すると、ファームウェアアップグレードおよびダウングレードが可能になります。

手順

1. 「[SPP のダウンロード](#)」の説明に従います。
2. SPP イメージをマウントしてから、アップデートを AutoRun で実行します。

ファームウェアのダウングレード

手順

1. [Hewlett Packard Enterprise の Web サイト](#)に移動します。
2. 製品名または製品番号を入力し、**実行キー**を押します。
3. **ダウンロードオプション**タブで、**ドライバー**、**ソフトウェア**、および**ファームウェア**を入手する。をクリックします。

4. 個々のファームウェアファイルを見つけて前のバージョンを確認し、必要なファームウェアバージョンをダウンロードします。
5. ユーティリティを強制モード (-f) で実行するか、またはダウンロードしたファームウェアバージョンがロードされている SPP からユーティリティを実行します。

トラブルシューティング

ファームウェアアップグレードログファイル

ユーティリティはファームウェアのインストールの状態（エラーを含む）を%systemroot%\cpqsystem\log のログに書き込みます。このファイルは、ターゲットサーバー上の現在の作業用ディレクトリに含まれています。詳しくは、「[Windows OS 用アダプターファームウェアアップグレードユーティリティ](#)」を参照してください。

その後のインストール作業に関する情報は、ターゲットサーバー上にあるすべてのサーバーアダプターファームウェアの更新作業の時系列順の履歴が記録されている同じログファイルに追加して記録されます。

Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マ
トリックス

[http://www.hpe.com/storage/
spock](http://www.hpe.com/storage/spock)

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

[http://www.hpe.com/storage/
whitepapers](http://www.hpe.com/storage/whitepapers)

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- テクニカルサポート登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。製品のドキュメントを確認し、推奨されるソフトウェアアップデートの方法を特定します。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかに移動します。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- eNewsletters およびアラートにサブスクライブするには、以下の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様の権利の表示や更新を行ったり、契約と保証をプロフィールとリンクさせたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページをご覧ください。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

❗ 重要:

一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の権利付与情報が必要になる場合があります。関連する権利付与情報を使って HP パスポートをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア（CSR）

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア（CSR）プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス	http://www.hpe.com/jp/hpaalert
HPE プロアクティブ ケアサービス	http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja
HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト	http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts （英語）
HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス：サポートされている製品のリスト	http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts

保証情報

ご使用の製品の保証を確認するには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターで入手できるサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照します。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

追加保証情報

HPE ProLiant と x86 サーバーおよびオプション	http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties
HPE エンタープライズサーバー	http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties
HPE ストレージ製品	http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties
HPE ネットワーク製品	http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

頭字語と略語

CCM

Comprehensive Configuration Management

CLP

command line protocol。コマンドラインプロトコル

EEPROM

Electrical Erasable Programmable Read Only Memory

FCoE

Fibre Channel over Ethernet

IPMI

Intelligent Platform Management Interface

iSCSI

Internet Small Computer System Interface

NC-SI

Network Controller Sideband Interface

PXE

preboot execution environment

SPP

Service Pack for ProLiant

UEFI

Unified Extensible Firmware Interface

UMP

Universal Management Port